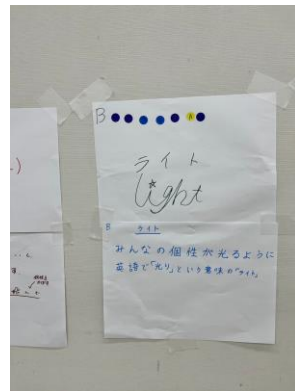


2024 子どもだけのまちをつくろう！第2回実行委員会(10.20)



にっしん体操&educaもんじゃ

実行委員の緊張をほぐすためのアイスブレイクとして、にっしん体操を実施。日進市の子どもたちとあって、自然と踊る姿が印象的でした。体がほぐれた後は、心をほぐすためのゲーム。にっしんエデュケータスのメンバーや、市民会館の方が変なポーズになったオリジナルカードを使って、あだ名をつけてカードを奪い合うゲームで、振り分けられたグループのメンバーと楽しみました。この場所にいる大人に親近感を持ってほしい、という想いからこのゲームは生まれました。次回もやりたい、という声が多数でした。



グループワーク①「通貨の単位を考えよう」

前回決まったまちの名前は「君が主役のこどものまち！」。このまちで使う通貨の単位(日本であれば円、アメリカならドル)を決めるワーク。まずは個人でこんなキーワードを入れたい、やこんな通貨の名前にしたい、などを考えて出し合い、グループで1つの名前を考えました。各グループ順

番に発表し、投票の結果、今年度の通貨の名前は「*light*(筆記体でlight)」に決まりました。

決定した単位で、今後まちのお金がデザインされます。

市長演説・投票

今年度の子どもだけの待ち市長立候補者は全部で5名。小学校5年生から中学1年生まで堂々とした市長演説が行われ、実行委員もスタッフも聞き入っていました。演説終了後、投票所に行き、受付をして投票用紙を受け取り、候補者名を書いて投票箱に入れます。ここで使われるのは毎年本物の投票箱を市役所からお借りしています。一番最初に投票する実行委員は、投票箱の中身が空かどうかを確認してもらい、投票します。初めての経験にみんな少し緊張しながらでしたが、一票を投じました。投票の結果、今年度の市長は「櫻井花梨」さんに決定。他の候補者も拍手を送りました。

〇〇課発足

前回の実行委員会でグループで話し合った「こんなまちがいいな」「こんなまちはいやだ」をもとに、「どんな役割があったらいいか」をeduca+でまとめ、5つの課が発足しました。

- ①まちのルール課
- ②職業・お店サポート課
- ③まちの企画・イベント課
- ④あいさつ・コミュニケーション課
- ⑤まちのデザイン課

5つの課の仕事内容を説明したあと、自分の興味のある課に入り、それぞれの課があることで、まちはどんなふうになるか？その課でどんなことができそうか？を考えて発表しました。今年度の子どもだけのまちでは、自分の企画やお店だけでなく、全員が必ずどこの課に属し、まち全体のことに取り組んでもらう予定です。

次回は課長も誕生し、課長は市長とまち全体のことを話し合っていきます。

